

平成31年1月15日

柏市長 秋山浩保様

柏市男女共同参画推進審議会
会長 大村芳昭

「平成29年度 第三次柏市男女共同参画推進計画(前期)報告書」について

このことについて、別紙のとおり意見書を提出します。

柏市男女共同参画推進審議会からの意見

柏市男女共同参画推進審議会は、柏市附属機関設置条例により位置づけられ、男女共同参画に関する総合的な施策の推進に関する審議を行うこととなっています。

そこで、審議会での委員による率直な意見交換を踏まえ、男女共同参画推進計画に基づく施策およびその進捗状況についての意見を提出します。

1 総合意見

平成28年度から新たにスタートした第三次柏市男女共同参画推進計画においては、実施2年目の実績報告が出た中で、男女平等教育の推進や推進体制の充実に課題が見られる。この結果を基に、各施策や指標の設定等、計画実施3年目の内容検証をしっかりと行い、より実効性のある計画に向けた改定を行っていただきたい。

今後も「多様な生き方を認めあい個性を生かせるまち柏」の実現に向け、市内各部署の職員が男女共同参画の視点を持って計画の推進を図るよう要望する。

2 各課題についての意見

(1) 政策・方針決定の場への女性の登用促進について

女性活躍の促進に向けた取り組みとして、男女共同参画推進計画を策定・推進している市自らが女性管理職の育成・登用に努め、女性管理職の割合の増加を図ることは、多様化するニーズに応えるため、また、市民への啓発を行っていく上でも、今後も注力していくことが必要である。女性職員の意識を把握し、引き続き、女性のキャリア支援への取組促進を期待する。

(2) 学校における男女平等教育の推進について

男女共同参画社会の実現に向けては、特に子どもの頃からのLGBTの理解をはじめとした男女平等意識の醸成が重要であり、家庭や地域、そして学校教育が与える影響が大きいことから、保護者だけでなく教職員への意識の啓発が求められる。

子どもたちの意識を育むため、教職員対象の男女共同参画研修の充実を図ると共に、教育委員会との連携を強化し、子どもたちへの積極的な事業展開を検討していただきたい。

(3) 男女共同参画センターの運営について

男女共同参画社会の実現には、市民一人ひとりが男女共同参画の視点を持つことが重要となってくる。開設後3年目を迎えた男女共同参画センターにおいては、多くの市民や多世代が日常的に訪れる複合施設内という立地のメリットを活かし、男女共同参画の推進拠点として、情報発信や相談、学習機能をより一層強化していただきたい。